

福岡県社保協 Fax Mail ニュース

2020.6.17 №.81

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

2次補正予算で医療に対して緊急包括支援交付金 2兆円

これで大丈夫 医療経営？

(全国保険医新聞 6月15日より抜粋)

その1 まずはここから！

そもそもコロナ感染が流行する前、2019年度医療経営実態調査では、**病院全体の損益率マイナス2.7%**、これは診療報酬がそもそも低く抑えられていたことで経営基盤はどこも厳しい状況だったと言えます。

○このような状況で今回、コロナ感染症が流行、4月の利益率を2019年と2020年で比較すると（病院団体調べ）

- ・病院全体では、

マイナス10.1%

- ・コロナ対応病院

マイナス12%

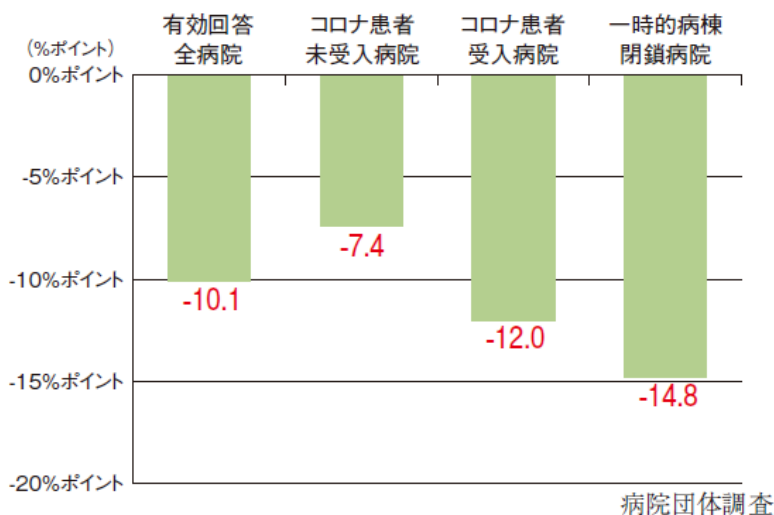
- ・院内感染発生病院

マイナス14.8%

あくまでも4月単月の数値、

2カ月続くと賞与にも・・・

医業利益率(19年と20年の差)



その2 政府は第2次補正予算で緊急包括支援金

2兆円を計上これで充足か

○今回の2兆円の使用について

- ① コロナ対応病院に対しての検査センターの設置費用・慰労金・防護具・重症者向けの病床確保への支援等
- ② 5月診療分前払い資金繰り等にも充足される
- ③ 第2波に備えた空床に関する支援金の補填は、ほとんど大病院・大学病院になっている。

その3 受け入れてない病院に影響がないのか

受け入れてない病院でも、外来患者は受診を抑制、病院側も感染防止の対策で、入院・手術の延期、健康診断、人間ドックを実施できないため、収益に影響をしているが、感染拡大防止等の支援にとどまる程度で、減収補てんにはなっていない。

○今回、5月27日に2兆円の補てんが閣議決定された後でも、国立、公的、民間病院団体などが加盟する日本病院協議会として、6月3日にコロナ感染症の入院、院内感染の発生や院内感染防止策として行った休床、休棟した病院を対象に「前年実績をもとに概算要求の適用」を要望しています。

その4 福祉機構(WAM)の貸付上限(7億2千万)の撤廃

○今回、前年同月から減収12カ月分まで融資が受けられる。(診療報酬一部前払いはつなぎ融資)

⇒そもそも病院経営大変なのに借金をしないとイケない状況になっている

今後も、国民のいのちと生活を守るためにも、医療や介護は重要です。今後も、医療・介護を守る取り組みを進めていきます。

